

ティーンズ誌

「Wa・Ka・Ba」



第14号

2014.7月

塩尻市立図書館発行

☆投稿紹介☆

みなさんが投稿してくれた作品を紹介します

とあるYoutuberさん
の作品



マスタースパークさんの作品

BAAAAAN!!!さんの作品



特集：海外留学のじっさい！

今回は海外留学に興味のある人のために、留学事情について特集します。一週間から行ける短期留学もありますので、夏休みなどを利用してチャレンジするのもいいかもしれませんね。

図書館にある留学に関する資料も参考にしてみてください。

留学までの流れ

雑誌『留学ジャーナル』に載っている「To Do リスト」を参考に留学までの流れをみていこう！

ステップ 1

「情報を集める」

留学ではどんなことができるのか、どんな場所、どんな留学があるのかなど、いろいろな情報を集めよう！

ステップ 2

「留学先やスタイルを決める」

どこの国にするのか、目的（語学留学、海外の大学進学など）や期間、どんな学校にするか、滞在先はどうするかなど、自分に合うものを選びましょう。

ステップ 3

「自分の現状を知る」

希望する学校などの入学条件もあるので、自分の英語力を確認するのも大切なこと。英語の試験を受けて目標設定や留学先選びの参考にしよう。

ステップ 4

「手続きや準備をしよう」

留学先を絞り込んだら、出願に必要な書類をそろえて手続きしましょう。パスポートやビザも必要ですね。持っていく荷物やお金のこと、携帯電話なども確認しましょう。

ステップ 5

「さあ、出発！！」

出発の日が決まったら、さあ出発。荷物は最小限で行き、あとから留学先に送ってもらうのがよいそうです。外国は日本より危険が多いので、くれぐれも注意してね。

☆ イベント情報 ☆

高校生対象 英語で交流会

2014 年 9 月 7 日(日)

13:30~15:00 えんぱーく5階

外国の方と自分の国で流行っている本や人気の本を紹介しあいます。そのあとはその国の文化や留学事情についてなど交流しましょう。英語がしゃべれなくても英語が好きなお方、留学に興味のある方なら大丈夫です。同じ夢を持つ友だちとも交流しましょう。

※詳細は8月1日より



広陵中学校図書館司書の小口さんより

公共図書館から、学校図書館に移って4ヶ月。初めての事ばかりで戸惑いつつ、「図書館の司書」として頼ってくれる生徒たちと、夢中で過ごす毎日です。

朝早く図書館前の廊下で開館を待つ生徒、閉館ぎりぎりまで生徒で込み合うカウンター。先生方も非常に読書家で、プレッシャーを感じつつ、このような環境で働けることに幸せを感じています。力不足ですが、やる気で補って頑張りたいと思います。

テーマ展示のご案内

広陵中学校では、読書旬間にあわせ図書委員が本の紹介カードなどを作成しているそうです。

今回、昨年度作成した紹介カードをお借りして塩尻市立図書館の児童コーナーで7月1日から8月末まで展示・紹介しています。コーナーでは、紹介されている本も一緒にありますので、同世代の人がどんな本を読んでいるのか参考にしてみてください。

知ってた?!旬ネタ

しゅうだんてきじえいけん 「集団的自衛権ってなんだ？」

留学に関する本紹介



『海外の大学・大学院 留学完全ガイド』

留学ジャーナル
2013年

『中高校生の留学』
地球の歩き方/編
ダイヤモンド社
2012年



『留学はこころのコスメ』

阿部 美枝子/著
朝日新聞出版
2011年

(雑誌)
「留学ジャーナル」
留学ジャーナル

※ 最新号は館内での閲覧です。



最近ニュースや新聞で目にする「集団的自衛権」という言葉。どういふものなのか知っていますか？

集団的自衛権とは、日本と仲のいい国（同盟国など）が武力などで攻撃されたときに、直接日本には攻撃されていないけれども、同盟国のために一緒になって反撃する権利のことです。この権利は1945年、国連加盟国の権利として認められました。日本では憲法9条で戦争の放棄を掲げていて、「必要最小限度の実力行使」以外の武力行使を許されていません。そのため、集団的自衛権を持つてはいるけれど、使うことができないのです。ちなみに、個別的自衛権（自国への武力攻撃を自国の力で阻止すること）は必要最小限度の範囲で許されています。

最近、世界の様子が変わり、同盟

国が攻撃された時、日本が集団的自衛権を使わないのはよくないことではないのかと考える流れが大きくなりました。そこで集団的自衛権を使えるようにしようという政府の動きがでてきます。集団的自衛権を使えるようにするには、2つの方法が考えられます。1つは、憲法を変える、もう1つは、憲法の意味、つまり解釈を変える方法です。憲法を変えるには、国民投票を行い、半数以上の賛成が必要なため、難しく時間もかかります。そこで安倍首相は解釈を見直す方法をとりました。安倍首相は5月、変更に向けた検討を加速させると表明し、7月1日ついに内閣で容認することを決定しました。

集団的自衛権を使うと日本も戦争に巻き込まれるのでは、という考えもあります。みなさんはどう考えますか。

※ 新聞を参考にしています。

今回の職業 美容師 です

ナビゲーターは

白ユリ美容室の上條 さんです

☆お仕事ナビ☆

ーキャリアデザインー

1. 仕事の内容を教えてください。
カットやパーマ、カラーリングをおこなったり、髪の毛のセットをおこなったり、メイクや着付けなど美容全般のお仕事をしています。
2. 仕事に就いたきっかけや、なりたかった理由を教えてください。
家業が美容院だったため、小さい頃から親の背中をみてきました。そして、自分もいつしか人のためになる仕事をしたいと思ったからです。
3. やりがいを感じたり、楽しい・うれしかったりするのとはどんなときですか。
お客さまが気に入ってすぐ喜んでくれたときや、笑顔を見ることができたときです。髪型はもろろんのこと、精神的にも、充実して帰られたと感じた時が一番うれしいです。
4. 中高生のとき好きだった本や熱中していたことなど教えてください。
子どもの頃は高橋真琴さんの絵本やぬり絵が大好きでした。とにかく美しくきれいなものに惹かれ、髪型をマネして絵を描いたり、リカちゃん人形の髪で遊んだり、色々なイメージを膨らませていました。今では、仕事は自分をきれいにする一つの修行

のようなもの。苦しいことを乗り越えて楽しんでいけば、輝いて見えるし、やることをちゃんとやりながらよく遊んだ方がお客さまとの共通点、話題にも幅が広がります。

5. 美容師の仕事をめざす中高生に、メッセージやアドバイスをお願いします。

はつきり言って、はじめから簡単にうまくはいきません。勉強し、技術を覚え、練習している時は、くやしくて涙が出ることもありましたが、辛抱して人よりたくさん練習を重ねれば誰でも必ずうまくなります。大変だけど、美容師になってしまえばこんなに楽しい仕事はありません。仕事は自分を高めるもの。どんな職種であれ、自分の人生に大きな影響を与え、生き方にも直接はね返ってくるものです。やらされているのか、やっているのか、この意識の違いがすべてです。自分が主体的に関わっているのなら、どんな仕事にもやりがいは見つけられるはずです。自分の夢をたくさんイメージし、そしてビジョン化してぜひ実現してほしいと思います。

★本の紹介★

しごと応援団(2006)・

『人をきれいにしたい』理論社、石田素弓(2003)・『美容師・理容師になるには』ペリかん社、

obscure-inc(2007)・『ヘアスタイリストの仕事がわかる

本』ソシム

☆縁パークしおじり☆

今回のテーマ 「塩尻市に縁のある人物」

— 筑摩書房創設者 古田 晁^{あきら} —

みなさんは古田晁という人物を知っていますか？ 東京にある大手出版社「筑摩書房」の創設者で、塩尻市と深い縁のある人物です。

今回はその古田晁についてご紹介します。

古田氏は、明治39年1月13日、東筑摩郡筑摩地村(現在:塩尻市北小野)大井区に生まれました。古田氏は中学・高校時代のときに出版業界に興味を持ち、志を共にする友人と将来の夢を熱く語っていたそうです。東京の大学を卒業後アメリカに渡り、父親の経営していた貿易会社に勤務していましたが、8年後、家族とともに日本に戻りました。そして2年間ほど会社経営の勉強をし、昭和15年(1940年)34歳のときに夢であった筑摩書房を創立しました。その頃世界は第二次世界大戦のまただ中で日本も混乱していましたが、「よい本を出したい」という思いから出版会社をつくったのです。古田氏は大酒飲みで、人情に厚かったといわれています。たとえ無名であっても、才能があると見込んだ作家には、できる限りのバックアップをしたそうです。会社の経営が苦しくても、「よい本をつくりたい」という古田氏の強い思いがありました。そのため筑摩書房は、一度倒産したこともありました。

古田氏はその人柄から多くの人にしたわれました。太宰治が入水自殺を図る前日、最後に訪ねていった相手が古田氏であったことも知られています。この時古田氏は郷里の塩

みなさんに塩尻に関することや、塩尻に縁のある人を紹介していきます。

尻に帰っていたため、太宰に会うことはできませんでした。古田氏はこのことをひどく悔み、「会っていたら、太宰さんは死ななかったかも知れん」と痛恨の言葉を吐いたといえます。現在、北小野にある古田氏生家の庭園と土蔵は塩尻市に寄付され、「古田晁記念館」として古田氏に関係する多くの貴重な資料を展示しています。記念館は土・日・祝日開館しています。ぜひ足を運んでみてください。

塩尻市立図書館には、古田氏のご遺族のご厚意で筑摩書房から出版された本を寄贈いただいています。これらの本には背表紙に半円形の緑色のシールを貼って、ほかの本の中にあっても一目でわかるようにしています。また、えんぱーくの図書館には、「古田晁文庫」というコーナーがあり、筑摩書房の文庫や新書を集めてあります。中高生にも読みやすい「ちくまプリマー新書」もこちらにあります。

現在の筑摩書房にも古田氏の「よい本をつくる」という理念は受け継がれており、筑摩書房の本はすばらしい出版物がそろっています。そのため、塩尻市立図書館に保存されている資料は、全国に自慢できるコレクションとなっています。



社会人一年生！

山端が行く



バカになりません。毎月支払いの紙を見る時に手に汗を握りますね。

働き始めて一番嬉しかったのが初任給の給与明細を見た瞬間でした。働いているんだという実感は初任給を貰った瞬間にハッキリとわかりました。おそらく自分と同じ年頃の人は同じ感覚になるのではないのでしょうか。

新しい環境で生活されている方も多いと思いますが、健康第一に楽しく過ごしましょう。それでは次回も読んで下さると嬉しいです。お付き合い下さりありがとうございました。

社会人になって新しく発見したことなどをお伝えしていきます。お楽しみに！

編集後記

今回からいくつか新コーナーが始まりました。これからみなさんに、得する情報をお伝えしたいと思いますので、よろしくお願いします。夏休み満喫してね〜♪(中村)

